

2025 年度 介護現場における ICT、IoT 活用研修

介護現場で求められる「生産性向上推進体制」の構築の仕方
～「生産性向上推進体制加算Ⅰ・Ⅱ」を取得するまでの具体的な道筋～

同朋大学 社会福祉学部 教授
愛知県介護福祉士会 会長
下山 久之

令和6年度の介護保険制度改正で新たに「生産性向上推進体制加算」が創設されました。今、介護現場で生産性向上推進が求められていますが、実際の介護現場では「生産性向上推進」という風潮に対し、戸惑いや不安を感じる声も見られるのではないのでしょうか？そのような戸惑いや不安から、なかなか一步を踏み出せないという事業所もあるかもしれません。

この研修では、そもそも介護現場で求められる生産性向上の考え方とは、どのようなものであるのかという共通認識を形成した上で、具体的に事業所内で生産性向上推進体制を構築し、「生産性向上推進体制加算」取得するまでの道筋を学んでいきます。

実際に「生産性向上推進体制加算」を取得したいとお考えの事業所の方は、介護福祉士のみならず看護師、リハビリ職、相談員、事務職等、チームでの受講をお勧めいたします。

第1回目：介護現場で求められる生産性向上の考え方

- 介護現場において生産性向上が求められる背景
- 「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン」

第2回目：「生産性向上推進体制加算Ⅰ・Ⅱ」の概要の理解

第3回目：「生産性向上のための委員会」の役割

- 利用者の安全並びに介護サービスの質の確保並びに職員の負担軽減に資する方策を検討するための委員会
- 効果評価の視点

第4回目：具体的なテクノロジーの活用例

- 見守り機器
- 介護記録作成の効率化に資する ICT 機器（電子ケアカルテ等）
- 職員間の連絡調整の迅速化に資する ICT 機器（インカム等）

第5回目：導入のための具体的な手順と公的補助制度の活用